

第3回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 平成24年2月7日(火) 午後3時から午後4時56分まで

会 場 青梅市役所201・202会議室

出席委員 16名

井上会長、轟座長、古屋委員、池田委員、村上委員(代理)、黒田委員、関根委員、秋山委員、高津委員、渡辺委員、小村委員、秀島委員、安野委員(代理)、塩野委員、島田委員、佐々木委員

欠席委員 2名

尾澤委員、茅野委員

傍聴者数 7名

配付資料 資料1 第2回協議会の指摘事項と対応

資料2 スケジュール等について

資料3 市民意向調査の結果

資料4 参考資料

議 事

1 開会

(会長によるあいさつ)

2 協議事項

(1) 第2回協議会の指摘事項と対応

○ 座長

「2協議事項(1)第2回協議会の指摘事項と対応」につきまして、事務局から説明願います。

○ 事務局

(パーソントリップ調査の活用や福祉交通の整理などについて説明。)

○ 座長

前回の内容の指摘を踏まえて、どのように対応してきたかということをお説明いただきました。詳細はまたこれから、今日特に市民意向アンケート調査の御説明をいただきますので、そこでまた御説明をいただければと思いますが、御説明いただいた内容に関して何か御意見、御質問ございますか。

- 発言なし -

では、のちほど説明があった時に、不明な点があれば御質問、御意見をいただければと思います。では、このような対応をさせていただくということで、今後も進めさせていただきたいと思います。

(2) スケジュール等について

○ 座長

「(2) スケジュール等について」事務局より御説明願います。

○ 事務局

(利用実態調査にかかるスケジュールや調査実施の変更について説明。)

○ 座長

それでは今御説明をいただきましたが、諸事情でスケジュールが変わった。それから予算の関係で調査の内容を変更せざるを得なかったことを御説明いただきましたが、この件に関して御質問、御意見ございますか。

- 発言なし -

それでは、私から一点だけ確認をしたいのですが、スケジュールが変わって、こういうことは致し方ないと思っておりますけど、2ページで対応を変更、他のデータで補完をするということですが、分析にあたり今までに想定したものとほぼ変わらないのかを確認したいと思います。

○ 事務局

得られるデータは、バス停間のODが得られるので、添乗調査員の調査と同じことですので、分析は大丈夫です。

○ 座長

ODが得られて、更に個人属性等はサンプルで補完をしていくということですね。スケジュールの件は、支障はないですか。

○ 事務局

23年度の作業につきましては調査の分析をもとに、再編にかかる基本方針を定めていくところが目標でございます。作業としては、本日、御意見、御提言を頂戴いたします市民アンケートをもとに分析を進めつつ、2月から3月にかけて行うOD調査と並行して基本方針の策定作業を進めてまいりたいと考えております。スケジュールは少々タイトではありますが、今年度末を目途に進められると考えております。

○ 座長

はい、ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

- 発言なし -

それではスケジュールについては変更になったということをお承認いただきまして、事務局においては、スケジュールが非常にタイトになっておりますので、この遅れを取り戻すような作業をよろしくお願ひしたいと思います。

(3) 市民意向調査の結果

○ 座長

「(3) 市民意向調査の結果」について、事務局より御説明願います。

○ 事務局

(3,000人を対象に実施。回収率が40%を超えたことや、路線ごとの不満度、公共負担に対する考えなどの回答結果を説明。さらに、導き出された課題を提示。)

○ 座長

調査結果を分析をしていただいたので、いろいろとわかったこともありますし、あるいはまだわからないこともあるかと思ひます。これから残り時間、議論をしたいと思ひますが、まず、この資料の中で質問があればお願ひします。それからもう一つは御意見ですけど、どんな御意見をいただきたいかと言ひますと、もっと深く調べていただきたいという内容とか、

あるいはこういったところをもっと考察を深めてほしいというようなことです。そして、特に課題の抽出が一番重要だと思いますので、課題については資料3の後半部分になりますが、ここについてはしっかりと皆様で認識を一つにしておきたいところです。

基本的には課題をどう対処するかということで、次回は改善の基本方針が出てくるということですが、課題を認識するうえで、みなさんはいろいろな認識、知識をお持ちですので、できればその基本方針に関するアドバイスのようなコメントなども併せていただくと、今後の作業に役に立つのではないかと思います。

それでは、残りの時間を議論したいと思いますが、どこからでも結構なので、御質問、御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○ 委員

アンケートの結果をいただきまして、いろいろ市民の皆様の御要望がわかりました。特に弊社のバスについての、鉄道との連絡の便ですとか、いろいろな御指摘をいただいておりますので、改善できるところは、これを参考にさせていただければと思います。

資料3の16ページですが、運行本数の不満ということで、弊社の小02・03について御意見をいただいておりますけれども、この小02・03というのは同じ三ツ原循環の東回り・西回りで、日中の時間帯は一周24分くらいです。一番御利用の多い「今井3丁目」とか「三ツ原工業会館」あたりですと、東回り・西回りどちらに乗っていただいても12、13分で小作駅まで行きます。だいたい御利用のお客様の大半が、そういった、どっちに乗っても行けるような御利用の仕方ですと、この9時から16時台でいいますと、確かに東回りと西回りを片方ずつ見ても20本ということになるのですけれども、両方合わせれば40本となり、この8時間の間に40本ということは、1時間に直しますと1時間あたり5本です。これはどういうことかと言いますと、JR青梅線が1時間に5本ずつということですので、実は全ての電車で連絡をしております。小作駅で電車から降りますと、東回りと西回りが交互に、必ずどちらかのバスに接続するようになっています。青梅市内のバス路線の中では一番高頻度で、御利用しやすい路線だと自負しているところですが、逆にこの路線について、本数に関する御不満があるとすると、他の路線がどうなのかということと、逆にこれで御不満があるということは具体的にどういうことが御不満なのかということを深堀していただくと有難いかなというところがございます。

○ 座長

はい、ありがとうございます。この点、どうですか。

○ 事務局

確かに路線の本数としては、青梅市内で一番多い方だと思いますので、どのバス停を利用する方の不満度が高いのかというようなことを、もう少し深めて調べていきたいと思います。

○ 座長

20ページに路線別の不満度があって、これみると、定時性が一番高くなっているようすが。

○ 事務局

定時性が高くなっていますのは、おそらく工業団地の中を通っているということで、通勤の自家用車や貨物車が多い時間帯に遅れが発生するのかと思われます。

○ 座長

もし事業者さんの方でそのようなデータがありましたら、事務局にいただいて、運行の状況等も踏まえて考察を深めていければと思います。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

今回、利用者からみたバスサービスの問題点というところで、重要度は運行本数の次に定時性が高くあげられておりますし、今の小02・03や梅70などについても定時性が問題ということなのですが、なにがしかの運行状況がわかりますと、特にどこで遅延が発生しているか、今、工業団地の中での遅延というお話がございましたが、関連を調べていただくと、どのような問題が発生しているかがわかるかと思えます。そのようなことを事業者さんにお尋ねすべきなのかもしれませんけど、何かデータのようなものがあるようでしたら是非活用していただきたいと思えます。

○ 座長

はい、ありがとうございます。これはどのようなデータを見ると把握できますか。

○ 事務局

添乗調査でOD調査をする都営バスと西武バスについては、発車時刻と到着時刻を記録していただくようにしていますので、それを時刻表と比べることでわかると思えます。

○ 座長

はい、お願いします。

○ 委員

17ページの梅70について、不満度のところに定時性ということで御意見いただいております。まず、基本的に梅70は非常に長い路線で、路線が長くなると、定時性も揺らいでくるし、効率性も悪くなるということで、我々自身、非常にこの路線について課題だなというふうに思っています。なぜ定時性が悪くなるかという、路線が長いと一つのところの遅れが全般に響いてきてしまうということです。

先ほど運行の状況というお話がございましたが、これまで23区内ですと、携帯電話やパソコンで、現在どこをバスが通っているかという御案内をしてきました。青梅の場合は、いろいろな関係でできなかったのですが、これを解決して、今現在バスがどこを走っているかわかるような取組を進めていきたいと考えております。

○ 座長

はい、ありがとうございます。いわゆるバスロケデータの情報提供をしていただいて、不安をなるべく払拭するということですね。そのような取組は是非進めていただきたいと思えます。それから、運行に関する遅れは、遅れの原因が道路交通の可能性もありますので、その点なども併せてみていただいて、もし必要であれば道路環境の方を改善していかないとどうしようもないということですので、ここでは中々それをやりますと、この協議会で決めにくいですが、これは道路の部署との連携を持って改善をしていくのが望ましいかと思えます。もし遅れているようなところがわかっていたら、そういうところを関連付けて考察・分析をしていただければと思います。その他いかがですか。

- 発言なし -

先ほど38ページの説明の中で、自由意見で小型バスに切り替えれば経費が安くなるという

意見が多かったとのことで、事業者さんにコメントいただければと思うのですが。

○ 委員

青梅市様以外にも同じような御意見を多くいただきます。大きなバスに何人かしか乗ってなくて気の毒だとか、小さなバスの方は効率がいいんじゃないかというような意見を度々いただいております。実は路線バスとして利用するためにはバリアフリー法がございまして、車椅子に対応する必要があります。そうなりますと、バスの価格は通常使っている大型の路線バスとほぼ同額か、むしろ小型バスの方が、購入価格が高いというのが実状です。それは小さな車体でノンステップ対応ですとか、構造上のいろいろな工夫をしなければいけないということがあって、大型のバスよりもむしろ高くなります。車両価格が大型バスとそれほど変わらない、もしくは高いにも関わらず、定員が少なくなりますと、朝夕のお客様の多い時間に大勢のお客様をお乗せできませんので、民間企業としてはとても採算がはいません。道路が狭くて小型バスを入れるということはあろうかと思いますが、コストを下げるために小型バスを入れるという選択肢は、私はないのかなと考えております。

○ 座長

他の事業者さん、補足があればお願いします。

○ 委員

私どもも同様で、青梅地域のバスのダイヤは、効率よく回るためにいろんな系統を一つのバスで回しているのです。そうすると、ここの路線はいつもお客様が少ないから小さいバスでいいよという話でも、その小さいバスは他の路線では使えなくなりますので、全体を考えるとやはり同じ大きさで、いろいろな時間帯に多用できるバスを用意しておく方が効率的だと思います。

それからいろいろな車種を揃えますと、維持管理が繁雑になり、経費もかかりますので、小型バスを導入することで、経費の削減にはならないと考えております。

○ 座長

こういう実態があるということですね。事業者さんの方では、実際の価格や運用の問題があって、見た目の感覚と違うという実態もここでクリアにしておきたいと思います。それでは、他にどうでしょうか。

- 発言なし -

前回意見があったので、確認をしておきたいのですが、12 ページでアンケートの被験者の分布をみると、やはり若い人がこの前御指摘をいただいたとおりに少ないようです。これは資料4の14 ページにも年齢構成がありますが、例えば、性別も男性より女性の方が多いため、先ほどアンケートの集計結果報告で、女性の方が、ニーズが強かったような報告があったので、回答者が元々多いというのは、これは修正をかけたうえでの値なのかどうか。それから年齢層に関しても、23～44 歳はとれていますが、65 歳以上がかなり多い。アンケートを分析して何か特に留意しなければいけないものがあれば、お答えいただければと思います。

○ 事務局

この14 ページの年齢はアンケートに対象になった方の年齢の割合ということで、例えばバス利用者の年齢ですと16 ページの方にありますが、それなりに均衡が取れているかなというふうには考えております。

○ 座長

この14ページの年齢は世帯の回答者で、先ほどの資料にあったのは、世帯の中の若い人に答えてもらった、それも入った構成ですか。細かい話で申し訳ないですけど。

ここで回答をということではないのですが、要するにアンケートを答えている人は、やはりどうしてもこのバスへのニーズの強い人という可能性が高いですので、そのあたりも含めて、少し考察をしていかないといけない部分もあるのではないかなと思っています。そこも注意・留意をしていただければと思っています。その他いかがですか。

○ 委員

高齢になるほどバスが使いたくても、一週間に一回、二回程度になり、このため、高齢化によりますます利用は減っていくということになるのだろうと思うのです。そういう意味では、もっとも住民の側に寄り添ってやっていくようなことが必要なんじゃないかと思えます。先ほどバス事業者の方から、大きいバスは、大は小を兼ねるじゃないですけども、それでやっていくんだというような話もございましたけども、やはりひと工夫もふた工夫も、そういったことは努力をすべきじゃないかと思えます。

○ 座長

今の御意見は、基本方針を立てていく中で重要になると思うのですが、やはり小回りのきく、先ほど事業者さんからありましたが、狭い路地の中へ細かく入っていくようなバスに関しては小さいものを使ってやっていくという、きめ細かなサービスがいるのかなと思っています。今の御意見を踏まえて、そういったニーズに合ったサービスやネットワークがどのように組めるかというのは、これからの課題だなと思いました。あとはいかがでしょうか。

○ 委員

基本方針作成についてコメントさせていただきたいのですが、今回の調査結果でわかることは、通勤・通学という利用もございますし、その一方で高齢者等の利用もありまして、そうすると非常に頻度の少ない利用が増えていくというお話がありました。今回の調査でそういったことがわかってきていると思いますので、これは非常に難しい話であるんですけど、バスサービスをどういう形で持っていくか。多分二つ、通勤・通学というところと、高齢者の買物・病院といったところですね。それをどうターゲットとして考えていくか、難しいところではあると思います。今回の調査結果でいろいろわかったことがあると思いますので、どういったところが問題になっているのかというのを、その目的によってだいぶ使い方が違ってくるかと思えますので、その辺を基本方針の中でクリアにさせていただけると非常にありがたいと思います。

○ 座長

いろいろなニーズがあって、そのニーズが多様である上、更に広域に及んでいることから、非常に難しいなと私も同じことを思いました。これからどのような方針で今後の改善に向けて計画を立てていくのか、事務局で何か今のところ考えていること、あるいは逆に悩んでいるようなところはありませんか。

○ 事務局

御指摘ありがとうございます。特に、意向調査の中で、一般的かもしれませんが34ページのバス利用促進の部分で、少子高齢化・人口減少の進展によってバス利用頻度の高い

若年層が減少して利用頻度の低い高齢者が増加する、ここは一つポイントとして捉えたいのと、あと、青梅市は地域が広いということで、運行のあり方、既存路線とのあり方、コスト面等を考慮して、基本方針を捉えたいと考えています。また、青梅市の特性として捉えられるものがあれば是非御指摘いただきたいと思います。

○ 座長

一般論を言えば、やはり先ほどからありましたとおり、運行頻度・本数っていうのがサービス面でのかなりの要望・不満になりますので、それをあげる策を考えると、単に増発・増便をするということではなくて、どこかを切っていくことも致し方ない。ただ、切るとそこは不便地域になってしまいますので、それをどう手当てしていくかと、こういうところがポイントではないかと思っております。一般論的なことを言えば、幹線とその先のフィーダーの部分はどう考えるかということではないかと思えます。違う方法もあるかもしれませんが、このネットワークをどうするかは事務局で少し検討いただいて、案を出していただければと思います。その他いかがですか。

○ 委員

コスト面という話も出ましたのでお話をさせていただきたいのですが、先ほど御説明いただく中で公共負担の話がいくつかございました。私どもは公共負担を青梅市さんからいただきながら青梅市内のバス路線を維持しているところでございます。ただ、公共負担で我々が事業をやっているかという、実はそれだけでは足りずに、私どもも赤字負担を抱えております。青梅市さんの負担をいただいても赤字額を出しているということ、それがいま数千万になっているということで、東京都の交通局ですが、税金で運営されているわけではなくて、一事業者として民間バスと同じような事業環境の中におります。ある特定の赤字路線に、どんどん経費を投入してもいいというような前提で経営をしていくことはできません。というのは、他の黒字路線のお客様の利益部分を赤字路線に投入していることになって、特別なサービスを赤字路線のところにしているというような考え方も成り立ちます。23区内では、お客様が多いところでは雨の日は乗り切れないところもあります。そういう所に乗務員の投入もできないような状況で、なんとか青梅市さんと協力しながらやらせていただいているわけです。そのことも是非御理解いただきながら、私どももこの赤字額は今のまま放置して良いとは考えておりませんし、ただ課題として非常に大きなものを背負っていることも、御理解いただきながら議論を進めていただければと思います。

○ 座長

事業者さんは規制緩和で効率化を求められていますので、多分いろいろな努力をされているのだと思います。そういった中で、それでも赤字が出てきている、では実際どこをどうしていくかというのは難しい問題であります。またOD調査の結果も出てきますし、ヒアリング等をさせていただくことだと思いますので、その中でどういう状況で赤字が出て、実際に人が乗っていないのであれば、これはやはりもう切っていくしかない、というような判断をせざるを得ない部分もあると思います。そこはまた、今後の分析結果、OD調査等を踏まえて、また議論をさせていただければと思います。

○ 会長

市民アンケート調査で、西武バスさんと都営バスさんの時間が競合するところがあって、

どちらかずらして欲しいという意見が寄せられておりますが、これについてお答えいただけないでしょうか。

○ 委員

バスのダイヤというのは非常に苦勞して作っております、先ほど少し申し上げましたけど、他の系統と合わせながらダイヤを組んでおります。それから青梅線とかの列車の時間になるべく合うような形で組んでいます。このようなことから、ここ単独でダイヤを組むことが、なかなかできません。もしここを10分ずらすと他の所を10分遅らせる。するとそれは列車との乗継ぎがいいのかどうかということになってまいります。それで、このような結果になっているのです。ただ、御指摘のように私もこれを見て、お客さまにとっては、確かにこれは、本数が少ないところで重なっているのは課題だということは十分感じますので、できるかどうかダイヤを一つ一つみないとわかりませんが、検討させてみたいと思います。ただ、そういうような事情がありますので、10分ずらして逆に皆様の不便なるようでしたらこれはできないという話ですので、その辺を踏まえて、検討させてみたいと思います。

○ 座長

よろしくをお願いします。西武バスさん、いかがですか。

○ 委員

私どもも都営バスさんと大体同じような認識で、全体の中の構成でダイヤを組んでいるので、こういった形になってしまいます。ただ、ここは特に東青梅と岩井堂の時刻を並べると、普通に見ても重複している時間が多いのもわかりますし、もう少し調整が必要だと思っております。当社の場合、青梅第七小学校の岩井堂付近の方に、小学校の登下校に使っていただいている部分以外は、多少ずらせる部分もあるかとは思っていますので、次回この地域の運行時刻の改定の際に検討したいと思っております。

西武バスは飯能線と入間線と2路線持っていますが、基本的に赤字路線で、だいたい年間で4千万弱の赤字が生じていますが、赤字路線に対する補助金は一切いただいておりません。その中で、他の路線と組み合わせながらなんとか維持してきましたが、それも年々減ってしまい、逆に市民の方々から、本数や始終発時間など御意見をいただいているとおりですが、なかなか厳しい状況の中で現状存続している部分がございます。

それからお客様のバスの乗り方もわからない、どこを通っているかもわからないというPR不足、実際にバスがどういったちで動いているかを本当にご存じない方が多いところがあります。他の地域では市内のバスマップを事業者の枠を超えて作っていただいているところもありますし、青梅市さんはもともと、バスが時刻を変えた時に手作りの時刻表を駅に置いていただいて、PR等協力してくれているという歴史的なものもありますので、再び青梅市内の公共交通について、市民の皆様本当に興味を持っていただきたいですし、今までどちらかという西武バスでは減らす方向になってしまっていて、御迷惑をお掛けしているのも認識しておりますので、もう少しみなさんと連携しながらやっていきたいと思っております。

○ 座長

この件に関しましては、検討いただけるとのことですので、この調査をした甲斐があるのかなと、これ一つでもよくなればいいと思っております。

今、コストの件、或いはバスの運用の件など、事業者さんからの事情もお伺いしました。この辺りは、住民も事業者もそこを理解した上で、お互いにどうしていくか議論をしていくべきと思っておりますので、そここのところは遠慮なく事情を説明した上で、できることをやっていきたいと思えます。もちろん上手く調整していくことで利便性が上がって、そして利用者が増えるというのが本当は一番良い姿ですので、それを目指せるような、いわゆるWin-Winの関係を目指していけたらなということは思っております。その他いかがですか。

○ 委員

いまいろいろと事業者さんからお話を聞いていて、是非可能ならばということで調査をお願いしたいのですが、事業者さんのドライバーの方にコメントをいただくことはできないでしょうか。運転手さんは常に同じところは走らないかもしれないですが、通常の道路の使い方について普段からよく御存知かと思えます。先ほどの遅延といった問題につきまして、もし可能でしたら、お聞きすることはできませんか。なぜそういうことをお話しているかと言いますと私の経験で、山梨県内ですけれども、一定の運転手さんが常に運転されているところで、運転手さんにお話を聞くと大抵のことはわかるということがありますので、もし可能ならばそういったことができるといいのかなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○ 座長

そういう調査は考えているでしょうか。

○ 事務局

ドライバーの方への個別調査ということは想定しておりませんが、例えばアンケート調査なりインタビューという形で、お聞きすることも選択肢としてあると思えますので、事業者さんと調整の上、可能であればやらせていただきたいと考えております。調整をさせていただきたいと思えます。

○ 座長

はい、是非、事業者さんにも御協力いただいて、やはり現場にいる方が一番と思えますので、市民の意見も聞きましたし、事業者さんの意見も聞きたいと思っておりますので、御協力よろしくお願ひします。そろそろ時間になってきましたが、地元の地域の方々、いかがですか、何かございますか。

- 発言なし -

また何かありましたら御意見いただきたいと思えますし、事務局等へ質問でも御意見でもいただきたいと思えます。また、次回に質問いただいても構わないと思っております。

それでは時間も迫ってきましたので、今日の協議事項3つ用意いただきましたが、これで全てということになります。その他、何か協議事項、皆さんから御提案等ございますか。

- 発言なし -

事務局から何かございますか。

○ 事務局

それでは事務局の方から1件、お諮りさせていただきたいと思えます。議事録の取扱いにつきまして、第2回の協議会で御協議をいただき対応方針の決定をいたしました。配付資料につきましては、まだ確認をしておりませんでした。配付資料につきましても議事録同様、市民の皆様にもいろいろと御検討いただくため、原則公開してまいりたいと存じます。

また、一部でも非公開を希望される場合は、協議会の議事事項として御提案をいただきまして、御協議を以って取り決めたいと存じます。この配付資料の取扱いにつきまして御協議をいただければと存じます。

○ 座長

今、事務局から提案がありましたが、配付資料も公開をということですが、何か御意見、御質問ございますか。もし問題なければ提案のとおりにさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

- 異議なしの声 -

では、公開をすることに関しては承認をいただきましたが、今度は、今日の第3回の資料について、何か非公開にした方がよいと希望されるものがあればお伺いしたいと思いますが、大丈夫でしょうか。特段、市民のアンケートの内容ですし、声を素直に聞いてのもので、市民の方々に広く見ていただきたいと、むしろ思うところではありますが、よろしいでしょうか。

- 発言なし -

では御希望がないようですので、第3回の資料については、公開の手続きをお願いいたします。それで、第1回、第2回の方はどうしますか。

○ 事務局

第1回、第2回の資料につきましては、各委員の皆様が、資料の内容等について、この場で全て御記憶というわけにはまいりませんので、もし公開に適さない非公開の部分、あるいはすべて非公開というかたちで取り扱いを希望される場合につきましては、2月17日（金）までに事務局に御連絡をいただきたいと存じます。申し出がございました場合、次回の協議会で取り扱いについて御協議をお願いしたいと存じます。お申し出がない場合につきましては、公開準備が整い次第、公開をしてまいります。よろしく申し上げます。

○ 座長

では第1回、第2回はまだ未公開ということのようですので、これも公開をしていくということで、今御説明がありましたけども、もし、非公開の希望がある場合には2月17日までに事務局へ御連絡をお願いいたします。この点よろしいでしょうか。

○ 委員

1点よろしいですか。アンケートの結果についても公表ということによろしいですか。

○ 座長

アンケートの結果というのはどのことを言っているのですか。

○ 委員

資料4などです。自由意見、特にアンケートを実施する時に、「回答いただいたアンケートの内容は統計的に処理します」と断っているのです、これはどこまで出せるのかということ。統計的処理というのはどこまでを想定しているのかを御検討いただけるとありがたいと思います。

○ 座長

個人情報の問題もある可能性があるのです、御検討をお願いします。

○ 事務局

特に自由意見でございますけれども、そういう断り書き等注意事項でございます。この掲載につきましては多分に個人情報等の精査が必要かと存じますのでそこは対応します。

○ 委員

わかりました。

○ 座長

ありがとうございます。重要な御指摘をいただきました。もしかしたら問題があるところもあると思いますので、これを集計したものは大丈夫ですよね。ですので、そういうかたちで処理をいただければと思います。その他よろしいですか、この点に関しては。

- 発言なし -

はい、ありがとうございます。他に協議すべきことはございますか。よろしいでしょうか。

- 発言なし -

ありがとうございました。熱心に御議論いただきました。また、事務局で調査等の結果などもまとめていただいて、いろいろわかってきたことがあります。これを踏まえて次回までに、またよく検討していただいて、また皆さんにも是非いろいろな御検討をそれぞれいただいて、それをまたこの場で議論ができればと思っております。それでは今日の協議事項、私の役割はこれで終わらせていただきます。どうもありがとうございました。では井上会長、お願いします。

3 閉会

○ 会長

轟座長、大変ありがとうございました。先ほどスケジュールの変更をお認めいただきましたが、少し遅れております。5回予定したところで4回ということで、3月がもう最後になると思いますが、事務局には、さらなる遅れが生じないように御準備をお願いしたいと思います。

それでは長時間に渡りまして、いろいろ御意見をいただきましてありがとうございました。3月の最後の協議会で、そこでまとめるということでございます。今後ともひとつ、御協力の程をお願い申し上げます。大変今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。